

馬車鉄道と北海道

～馬車鉄道はなぜ消えたのか～



馬車鉄道とは

- 1807年（19世紀）のイギリスで誕生
- 客車に乗客を乗せ、レールの上を馬に走らせる乗り物



日本と馬車鉄道

- ・馬車鉄道が誕生してから75年後の1882年（明治15年）に「東京馬車鉄道」が新橋～日本橋間で開業

同じ年に環状線を作り、範囲を広げた

- ・レールの上をスムーズに進み、輸送力アップ、効率化、乗り心地の良さなどで全国に拡大

札幌石材馬車鉄道合資株式会社

北海道と馬車鉄道

1

- ・ 1904年（明治37）年に助川貞次郎、藪惣七、福井正之、高瀬金太郎の4人が出資をして設立
- ・ 1909年（明治42年）2月開業
- ・ 札幌の南にある石切山の軟石材の運搬を中心にしていたが、少しずつ旅客輸送を展開
- ・ 12人乗りで1日3往復、料金は1区3銭
- ・ 1912年8月社名を「札幌市街馬車軌道株式会社」に改名

北海道と馬車鉄道

2

札幌市街馬車軌道株式会社

- ・ 1981年（大正7年）に「開道50年記念博覧会」が札幌を中心に開催されることが決定し、電車に切り替えるチャンスになる
- ・ 1916年（大正5年）10月に「札幌電気軌道株式会社」に改名
- ・ 電気軌道の経営が決定
- ・ 1981年（大正7年）、電気軌道工事の着工
- ・ 同年8月12日営業開始
- ・ 料金は片道6銭

【年表】

| | | |
|----------------|--|--|
| 1807年 文化4年 | イギリスで馬車鉄道が誕生 | |
| 1882年 明治15年 | 東京馬車鉄道が開業 | 新橋～日本橋間で開業。 上野、浅草も加え環状線も開通。 |
| 1904年 明治37年 | 札幌石材馬車鉄道合資会社が設立 | 藪惣七ら4人が各1万円ずつ出資し設立。 |
| 1909年 明治42年 | 2月 開業 | 軟石材の運搬を中心にしていたが、旅客輸送を開始。 |
| 1910年 明治43年 | 終点を藻岩山山鼻から札幌駅前まで延長 | |
| 1912年 大正元年 | 8月 「札幌市街馬車軌道株式会社」に改名 | 区内の要となる地域に路線を増やし、区民の足になった。 |
| 1913年 大正2年 | 1981年に「開道50年記念北海道博覧会」が開催決定 | 馬車鉄道で便利にはあったが、糞尿の処理などで不満があった。 |
| 1916年 大正5年 | 10月 「札幌電気軌道株式会社」に改名 | 電気軌道の経営を決議。 |
| 1981年 大正7年 | 4月 電気軌道工事着工 8月1日 博覧会開会式 8月12日 営業開始 | 営業開始は博覧会の開会式に間に合わず、昼夜工事が進められた。 観覧者を運ぶ大動脈になった。 |

感じたこと・思ったこと

今回のコンクールがなければ私は「馬車鉄道」の存在を知らないままでした。

また、路面電車のルーツや普段触れることのない北海道の歴史を知ることができ、とても良い経験になりました。

今後、路面電車を利用するときに、馬車鉄道の名残がないかを気にして利用したいと思います。